

今日のトピック ユーロ圏の金融政策(2014年9月)

追加利下げと資産購入の決定でユーロ安

ポイント1 利下げと資産購入を決定

購入対象や額は10月発表へ

- 欧州中央銀行(ECB)は4日、政策金利、預金金利を0.10%ずつ引き下げ、それぞれ0.05%、マイナス0.20%とすることを決定しました。
- 利下げに伴い、9月18日から開始される資金供給策「TLTRO」に適用される金利も、0.15%(4年物、固定)に低下します。
- 加えて、資産担保証券(ABS)やカバードボンドなど、民間資産の購入方針も決定されました。詳細は10月に発表されます。ABSの市場規模は1,000億ユーロ程度、カバードボンドの発行額は年間1,000億ユーロ程度です。なお購入対象の拡大が必要との指摘も多く、今後は住宅ローン担保証券(RMBS、市場規模は約6,000億ユーロ)などへ対象を拡大する可能性があります。

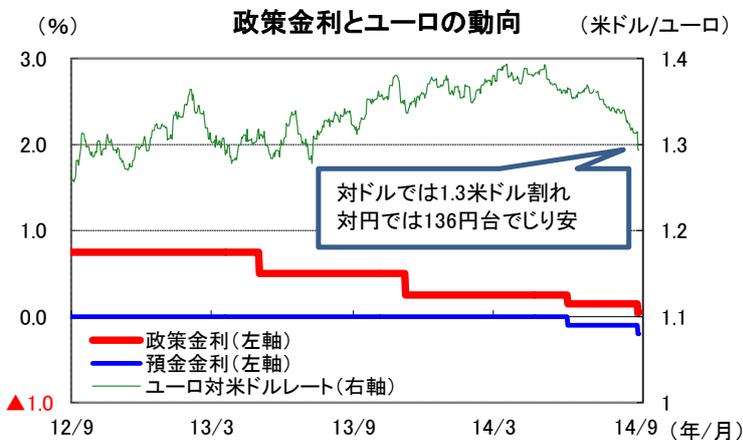
ポイント2 景気・物価見通しが下振れ

スタッフ見通しは再度の下方修正

- 当初、ECBは9月開始のTLTROの効果を見極め、追加策を検討すると見られていました。しかし、8月にはドラギ総裁が物価の中期見通しの下振れに言及し、今回の追加策決定につながりました。

今後の展開 銀行貸出促進と資金供給で金融緩和を強化、低金利は長期化見込み

- 声明文には、今回の決定により、ECBのバランスシートが大きく拡大する旨が明記されました。まだ国債購入などには踏み込んでいないものの、市場では一段の資産購入拡大に向けた一歩ととらえる向きが多く、結果的に大量の資金供給がユーロ安圧力となることが想定されます。
- 9月から実施されるTLTROの利用総額は6,000億ユーロ程度とも見られ、今後の資金供給額は、資産購入と合わせ1兆ユーロ超とも見込まれます。



ECBスタッフによる四半期見通し(2014年9月)

(前年比、%)	実質GDP成長率	消費者物価指数
2014年	(+0.9%)	(+0.6%)
6月時点	+1.0%	+0.7%
3月時点	+1.2%	+1.0%
2015年	(+1.6%)	(+1.1%)
6月時点	+1.7%	+1.1%
3月時点	+1.5%	+1.3%
2016年	(+1.9%)	(+1.4%)
6月時点	+1.8%	+1.4%
3月時点	+1.8%	+1.5%

(注) グラフの期間は2012年9月1日~2014年9月5日(正午時点)。
(出所) ECB、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2014年09月01日【マンスリー No.72】先月のマーケットの振り返り(2014年8月)
2014年08月15日【デイリー No.1,935】ユーロ圏のGDP成長率(4-6月期)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。